



国立女性教育会館 女性教育情報センター テーマ別図書案内

ます
本、あり□。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-
///Vol.26///

男性育休
～取得が当たり前になるように～



育児・介護休業法が改正され、2022年4月1日から段階的に施行されます。これまでも法改正を経て制度が少しずつ整えられてきましたが、なかなか男性の育児休業取得率が上がらないという課題がありました。



今回の改正では、いわゆる「男性版産休」と言われる新しい制度「産後パパ育休」が創設されるなど、男性の育休取得の促進が期待されています。

改正内容例

2022年4月～

- ・事業主は、制度の周知や育休取得意向を個別に確認することが義務化
- ・有期雇用労働者の育児休業取得要件の緩和

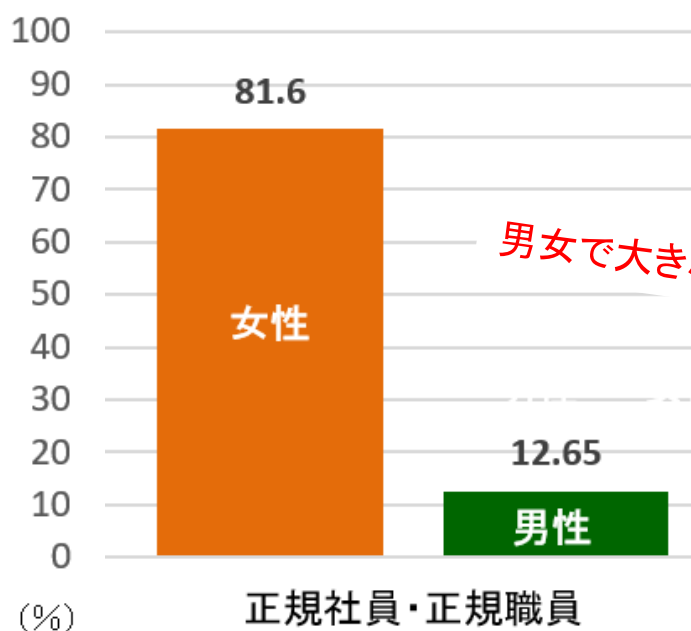
2022年10月～

- ・育休とは別に取得できる産後パパ育休(出生時育児休業)の創設
- ・育児休業を分割して2回取得することが可能に

2023年4月～

- ・従業員数1,000人超の企業は育児休業取得状況を公表することが義務化

育児休業取得率(2020年度)



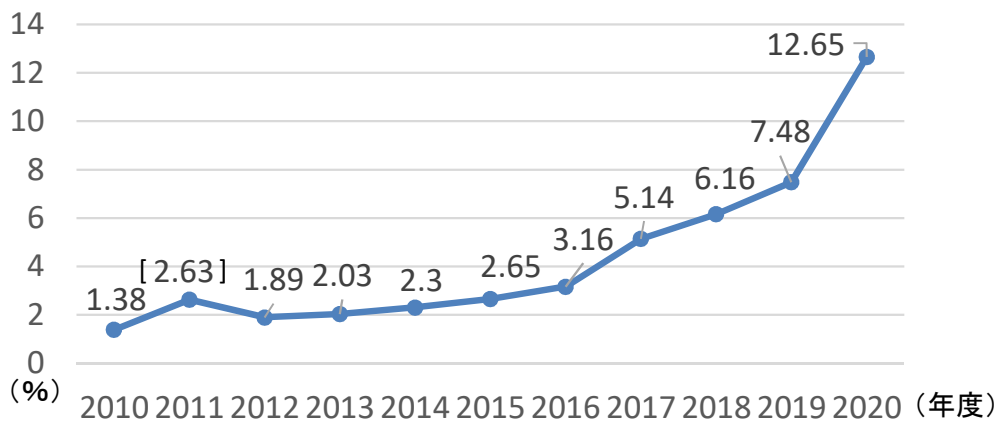
育休取得男性のうち、**28.33%**が育休期間**5日未満**です。



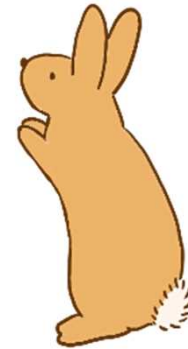
取得できても期間が短いのが現状

育児休業取得率 = $\frac{\text{出産者のうち、調査時点までに育児休業を開始した者(開始予定の申出をしている者を含む)の数}}{\text{調査前年の9月30日までの1年間*の出産者(男性の場合は配偶者が出産した者)の数}}$
*平成22年度までは、調査前年度1年間

男性の育児休業取得率の推移



男性の育児休業取得率は
上昇傾向ですが、
まだまだ低い水準...



(参考)厚生労働省「令和2年度雇用均等基本調査 事業所調査結果概要」2021
2011年度の[]内の割合は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果

男性の育児休業取得率の目標は...

2020年度
12.65%



2025年までの目標
30%

(参考)第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)2020年12月21日閣議決定

『男性育休の教科書：男性育休義務化の基礎知識』

日経xwoman [編] 日経BP 2021



育休制度の内容や意義が分かりやすく解説されています。企業が行うべきこと、育休取得ガイド、育休中や職場復帰後の事例、男性育休率が高い企業の実践例などが掲載されており、具体的に男性育休について知ることができます。社内研修や家族会議で活用できる実践ワークシート付き。

🖥️ 詳しく知りたい方へ ~厚生労働省が提供している情報~

- 「育児・介護休業法について」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>

育児・介護休業法の改正内容や関連パンフレット・動画が掲載されています



- 「両立支援のひろば」

<https://ryouritsu.mhlw.go.jp/index.html>





ユニセフが2021年に発表した報告書では、日本の育休制度は1位と評価されてるよ。(OECDとEU加盟国41か国中)
制度があっても、男性が育休を取らないのには、どんな理由があるんだろう。

(参考)ユニセフ「子育て支援策 新報告書 先進国の育休、保育政策等をランキング 日本は育休1位、保育の質や料金では中位」
<https://www.unicef.or.jp/news/2021/0125.html>

▶ 育児休業制度を利用しなかった理由は?

【男性正社員】

- 41.4% 収入を減らしたくなかったから
- 27.3% 職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから、
または会社や上司、職場の育児休業取得への理解がなかったから
- 21.7% 自分にしかできない仕事や担当している仕事があったから

(参考)日本能率協会総合研究所「令和2年度仕事と育児等の両立に関する実態把握のための調査研究事業」

▶ 1か月以上の育児休暇を取得しない理由

【男性 既婚者 20歳代・30歳代】

- 42.3% 職場に迷惑をかけたくないため
- 34.0% 収入が減少してしまうため
- 33.8% 職場が、男性の育休取得を認めない雰囲気であるため

(参考)内閣府「第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

『男性育休の困難：取得を阻む「職場の雰囲気」』

齋藤早苗著 青弓社 2020



育休取得男性、長時間労働の経験がある男性正社員・女性正社員へのインタビューから、育休制度が整備されていながらも、育児休業が取りづらい「職場の雰囲気」を浮き彫りにしています。
私生活よりも仕事優先の時間意識や、職場の性別役割分業意識などを明らかにし、男性育休の困難を解消するために今後どのようにしていけばよいかの参考になります。

『妻に言えない夫の本音 仕事と子育てをめぐる葛藤の正体』

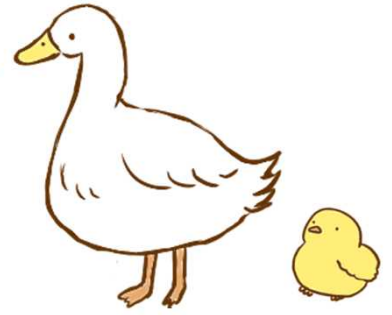
朝日新聞「父親のモヤモヤ」取材班著 朝日新聞出版 2020



育児の主体としてみなされない、ロールモデルが見当たらない、相談相手がいないなど、男性の育児にまつわる悩みが具体的なエピソードを元に書かれています。
様々な悩みから、「父親のモヤモヤ」の背景にある根強い性別役割分担意識や働き方の課題などを可視化しています。

部下やスタッフのワークライフバランスに配慮・理解のある上司のことを「イクボス」と呼びます。

(参考)ファザーリング・ジャパン「イクボスとは」
<https://www.fathering-japan-ikuboss.com/>



『イクボスインタビュー集：イクボスアワード受賞者に聞く：管理職必見! 2020』

厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課 2021



イクボスアワードとは、厚生労働省主催で、部下の仕事と育児の両立を支援する管理職＝「イクボス」を企業からの推薦によって募集し、表彰した賞です。部下への配慮や工夫、自身の仕事と家庭やプライベートの両立など、イクボスの取り組みがインタビュー形式でまとめられています。



厚生労働所HPでPDFが公開されています(2015～2020年度分)
<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/company/case/#ikuboss>

*2021年度は休止

『育児&介護を乗り越えるダイバーシティ・マネジメント イクボスの教科書』

日経DUAL編 日経BP社 2017



イクボスが求められる背景や、イクボス実践者の体験談・実行のポイント、成果を出している先進的な企業事例などが紹介されています。図解でまとめられていて、イクボスについて分かりやすく知ることができます。書き込み式ワークシート付きで、業務の見直しや、欠員シミュレーション、社内研修に役立ちます。

もっと知りたい方へ

- 厚生労働省「イクメンプロジェクトサイト」

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>



【イクメンプロジェクトサイトのコンテンツから】

「男性の育休に取り組む 企業・イクボス取組事例紹介」

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/company/case/>



「男性の育休に取り組む イクボス宣言 する/見る」

https://ikumen-project.mhlw.go.jp/ikuboss_voice/entry/

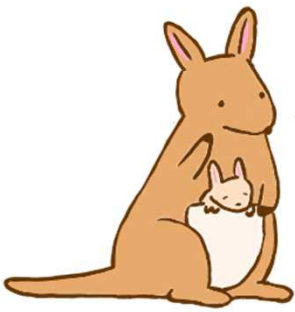


- NPO法人ファザーリング・ジャパン「イクボスドットコム」

<https://ikuboss.com/>

全国のイクボス宣言や企業同盟についての詳細





実際に育休を取得した男性の体験談や事例を知りたいな。



『男も育休って、あり?』 羽田共一著 雷鳥社 2021

著者は小学校教師で、勤務校で初の男性育休取得者となります。第一子、第二子それぞれ3カ月間の育休生活の記録から、教員という立場で育休を取得し、考えたことや感じたこと、育休中の生活が書かれています。妻が第二子妊娠中、新型コロナウイルス感染症が広がり、コロナ禍での育休、子育てについても触れられています。教員の働き方についても考えるきっかけとなる一冊です。



『男コピーライター、育休をとる。』 魚返洋平著 大和書房 2019

会社員として6カ月間の育休を取得した著者による、育休取得手続きから職場復帰後までを綴った体験記です。子どもの成長を見る喜び、イメージと現実とのギャップ、心境の変化など、子育てと仕事の体験がユーモアあふれる文章で書かれています。本のカバーには、「育休は、最強の出産祝いでした」という言葉が。

もっと知りたい方へ

厚生労働省「イクメンプロジェクトサイト」

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>

育児休業制度について分かりやすく解説されています



【イクメンプロジェクトサイトのコンテンツから】

- 「育児休業を取る 育児体験談 投稿/見る」

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/voice/search/>

- 「育児休業を取る イクメンの星」

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/employee/star/>



女性・ジェンダー関連情報を調べるのに最適！



国立女性教育会館 文献情報データベース

https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac_search/



 **文献情報データベースでできること**

- ①女性教育情報センターの豊富な所蔵資料が検索できます
図書・地方行政資料14万冊、雑誌4千タイトル、
新聞記事54万件、和雑誌記事7万6千件
- ②資料には、登録時に関連キーワードが付与されているため、
幅広い、効率的な検索ができます

 **新着資料アラートサービス**

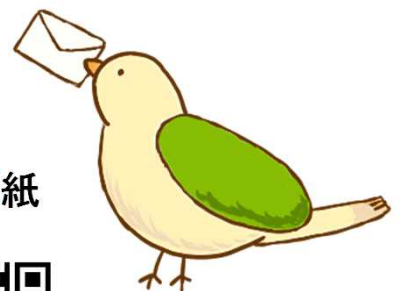
関心のある「キーワード」や「著者」などをあらかじめ登録すると、
その条件にあった女性教育情報センターの新着資料をEメールでお知らせ！

最新情報を受け取るには、新聞記事を登録するのが
オススメです！

新聞記事は全国紙・地方紙（北海道～沖縄県）合わせて**50紙**

【詳細はこちらから】

 <https://www.nwec.jp/database/new.html>





「男性は育児休業を取るべきじゃない、共働きでも男性は家庭より仕事を優先するべきだ」というような、性別による無意識の思い込みはありませんか？



性別による無意識の思い込みを確認できる
チェックシート・事例集をダウンロードできます

- 内閣府男女共同参画局「令和3年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r03.html



国立女性教育会館が提供するサイト



「女性情報ナビゲーション」

<https://winet.nwec.go.jp/navi>



男女共同参画社会形成に役立つweb情報へのリンク集です

- 🔍 育休に関連する分野例
しごと・労働 > ワーク・ライフ・バランス
子育て支援・子ども > 子育て支援



男性育休

～取得が当たり前になるように～

女性教育情報センターテーマ展示（4～6月）

【URL】 <https://www.nwec.jp/event/center/paternityleave.html>



編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課
〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
TEL:0493-62-6195
URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>



発行: 2022年4月